

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNO.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNO. _____

ボーリング名	NO.B-2		調査位置						北緯	36° 51' 55.0000"	
発注機関	栃木県日光土木事務所 河川砂防部					調査期間	2008-10-30 ~ 2008-11-06		東経	139° 23' 19.0000"	
調査業者名	主任技師					現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	1391.86 m	角度			地盤勾配	水平 0°	使用機種	試験機		ハンマー 落下用具	
総掘進長	9.24 m						エンジン			ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 試料番号	室内掘進 月日		
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N	値					
0.85	0.70	0.85		表土 (SF) 玉石 (B)	暗褐色			有機質シルト。緩い。 コア長10から60cmの転石。 流紋岩系転石。岩質硬い。			1.15	6	5	5	16	30	16			10/31
				玉石混り砂礫 (GS-B)	暗褐色			崖錐性堆積物。土質乱れる。 礫径2から60mmの亜円、角礫主体 コア長5から10cmの玉石混じる。 壤間粗中砂、粘土にて充填。 含水比は下位から中位。 3.70mより凝灰質粘土分多く混じり、締まる。			2.15	10	3	4	17	30	17			
4.45	3.60	4.45		風化流紋岩 (Ry)	暗褐色			強風化凝灰岩。 コアは棒状となるが軟質で粘土化進む。 指で押すとコアは潰れる。			3.15	6	6	7	19	30	19			
5.50	1.05	5.50		流紋岩 (Ry)	乳灰			コアは亀裂のない柱状コア主体 岩質は脆く表面部、爪が入る。 ハンマーで叩くと重い音。容易に割れる。 全体に軟質な岩である。 7.50から8.00mの間、状態悪く礫、岩片状コアとなる。 8.00mよりコア長10から50cmの柱状、短柱状コアとなる。			4.15	14	5	5	50	15	>50			
											5.15	12	15	18	45	30	45			
											6.15	11	16	21	48	30	48			
											7.15	14	20	4	50	24	>50			11/04
											7.39						>50			
											8.00	50	8		50	8	>50			
											8.08						>50			
9.24	3.74	9.24									9.15	50	9		50	9	>50			11/05
											9.24						>50			